



第75期 中間株主通信

2018年4月1日 ▶ 2018年9月30日



To our Shareholders



株主の皆様におかれましては、平素より格別のご高配を賜り、誠にありがとうございます。第75期第2四半期(2018年4月1日から2018年9月30日まで)の業績につきまして、ご報告申し上げます。

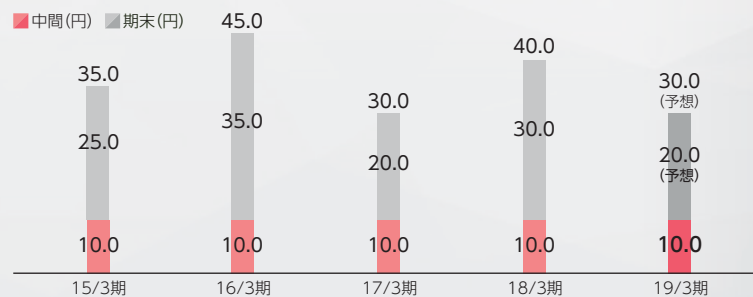
当第2四半期は、主要需要先である国内建設用鋼材市場が建築・土木分野ともに需要は底堅く推移し、海外においても、ベトナム・米国ともに堅調な鋼材需要に支えられました。これらの結果、当社グループの連結売上高は1,107億1千8百万円(前年同期対比28.0%増)、連結営業利益は43億2千3百万円(同161.3%増)、連結経常利益は39億7千7百万円(同181.8%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は30億3千7百万円(同201.9%増)となりました。

なお、当期における1株当たりの中間配当は、10円とさせていただきます。期末配当予想につきましては、従来通り20円とし、通期で30円を予想しております。

当社は昨年12月、創立70周年を迎えることができました。今後は「100年企業」に向け、社会やお客さまなどステークホルダーから、より一層信頼され、評価される「質の高い」企業を目指し、当社グループの中期経営計画「Quality Up 2020」を策定しました。スローガン「未来への挑戦～より強い共英製鋼グループを目指して～」を掲げ、全社一丸となって邁進してまいりますので、今後とも変わらぬご支援を賜りますよう、何卒よろしく願いいたします。

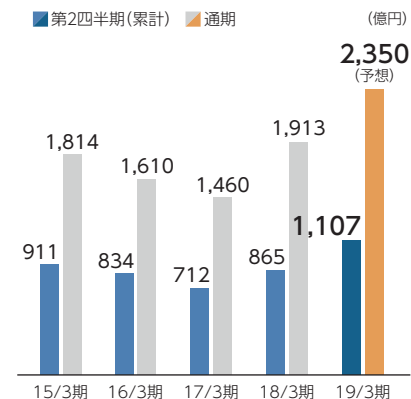
代表取締役社長 **廣富 靖以** (ひろとみ やすゆき)

配当の推移



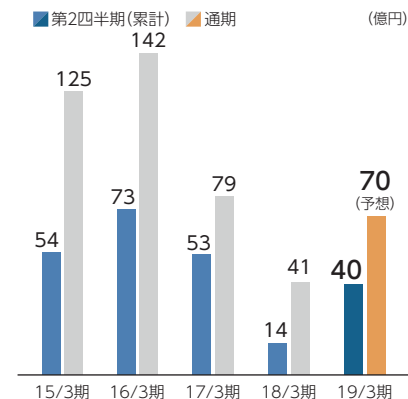
売上高

1,107 億円 前年同期対比 28.0% 増 ↑



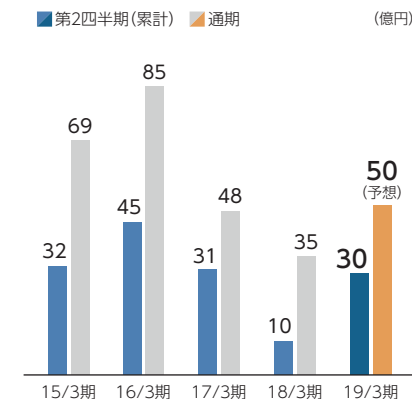
経常利益

40 億円 前年同期対比 181.8% 増 ↑



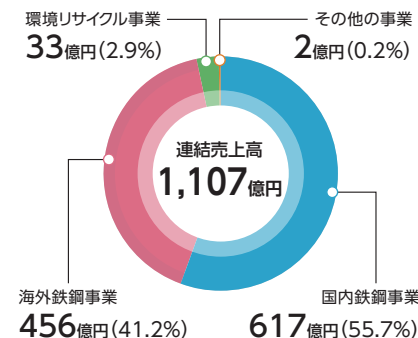
親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益

30 億円 前年同期対比 201.9% 増 ↑



セグメント別業績

■ 国内鉄鋼事業 ■ 海外鉄鋼事業
■ 環境リサイクル事業 ■ その他の事業



	前第2四半期(累計)		当第2四半期(累計)	
	金額(百万円)	金額(百万円)	金額(百万円)	前年同期比(%)

国内鉄鋼事業	売上高	50,630	61,679	+21.8
	営業利益	2,297	3,451	+50.2
海外鉄鋼事業	売上高	32,736	45,593	+39.3
	営業利益	△125	1,066	-
環境リサイクル事業	売上高	2,988	3,263	+9.2
	営業利益	280	532	+90.3
その他の事業	売上高	152	183	+21.1
	営業利益	12	△73	-
調整額	営業利益	△809	△652	-
計	売上高	86,506	110,718	+28.0
	営業利益	1,654	4,323	+161.3

新中期経営計画の実現に向け、 国内外における鉄鋼事業の 競争力強化に努めます。

代表取締役社長 ひろ とみ やす ゆき 廣富 靖以



第75期(2019年3月期)上期の業績について

国内鉄鋼事業、海外鉄鋼事業、環境リサイクル事業において増収増益となりました。

国内鉄鋼事業では、建築・土木分野とも需要は回復傾向にあり、製品出荷量は前年同期対比2万トン増の84万トンとなりました。原材料である鉄スクラップ価格が高値圏で推移する中、7月以降はさらに上昇し、エネルギー費や電極・耐火物・合金鉄といった副資材等の価格の上昇により製造コストが大幅に増加しました。

その一方で、製品価格値上げの浸透が進み、利益の源泉となるメタルスプレッド(製品価格と原材料価格

の差)が前年同期対比でトンあたり4千円拡大したことで増収増益という結果となりました。

海外鉄鋼事業については、ベトナム・米国ともに鋼材需要は引き続き堅調な伸びを示しています。ベトナム南部拠点であるビナ・キョウエイ・スチール社は生産・販売ともに好調に推移し、前年同期対比増収増益となりました。一方、北部拠点のキョウエイ・スチール・ベトナム社は、競合が激しく当上期では黒字に至りませんでした。米国のビントン・スチール社は、好調な経済状況に加え保護主義政策による鉄鋼市況の高騰が追い風となり、想定以上の利益を計上することができました。これらの結果、海外鉄鋼事業全体では前年同期対比増収増益となっています。

環境リサイクル事業については、中国の廃棄物輸入規制の強化により廃プラスチックなどの取扱量が増加したほか、スポット案件の獲得などにより、前年同期対比増収増益となりました。

下期の事業環境と通期の見通しについて

下期の事業環境は厳しいものの、 通期業績としては 増収増益を見込んでいます。

次に、2019年3月期通期の見通しについてご説明します。

国内鉄鋼事業については、鉄スクラップ価格の高値圏での推移、副資材等の価格の上昇といった懸念材料はあるものの、製品出荷量については、遅れていた工事の進展などが見込まれることから、上期を上回る見通しです。

海外鉄鋼事業については、引き続きベトナムにおける鋼材需要は堅調に推移するものの、北部を中心に価格競争が激化しており、収益面で厳しい局面になることが予想されます。北部のキョウエイ・スチール・ベトナム社は、過去最高となる通期28.5万トンの製品出荷量を見込んでいるものの、収益面では厳しい状況が予想されます。南部のビナ・キョウエイ・スチール社も同様であり、製品価格の値上げが進まない中、スクラップ価格の上昇によりメタルスプレッドの縮小が見込まれることから、上期対比減益を予想しております。

一方、米国では好調な鉄鋼需要動向を背景に業績が堅調に推移する見込みです。引き続き保護主義政策の影響で米国の製品価格が高値で推移し、売上高、営業利益ともに大幅に増加する見込みです。なお、本年5月に子会社化したベトナム北部のベトナム・イタリー・スチール社については、下期より連結子会社として連結損益に取り込みます。これらの結果、国内鉄鋼事業・海外鉄鋼事業ともに、売上高は上期対比で増収を予想しておりますが、営業利益については減益を予想しています。

環境リサイクル事業については、上期と同等の営業利益を予想しております。

このように下期の事業環境は厳しいものの、上期実績が従来予想を上回ったことから、2019年3月期通期業績については、売上高2,350億円、営業利益75億円、経常利益70億円、親会社株主に帰属する当期純利益50億円と、前期対比増収増益を予想しております。

当社グループでは、2020年度を最終年度とする3カ年の中期経営計画「Quality Up 2020」を策定いたしました。2020年度の売上高2,800億円、経常利益140億円、国内海外あわせた製品出荷量400万トン、ROE(自己資本利益率)6%以上を目標とし、「経営力・現場力・社員力」の向上という3つの質の向上にグループ一丸となって取り組んでまいります。株主の皆様におかれましては、さらなるご指導、ご鞭撻の程、よろしくお願い申し上げます。

「Quality Up 2020」

～未来への挑戦 より強い共英製鋼グループを目指して～

1 基本方針

- ガバナンス体制の強化
- コンプライアンスの重視
- 品質管理体制の向上



2 経営計画

	2017年度(実績)	2018年度(予想)	2020年度(計画)
売上高	1,913億円	2,350億円	2,800億円
経常利益	41億円	70億円	140億円
出荷量	297万ト	326万ト	400万ト
国内 / 海外	168万ト / 128万ト	174万ト / 152万ト	180万ト / 220万ト
ROS(売上高経常利益率)	2.1%	3.0%	5%以上
ROE	2.5%	3.5%	6%以上
配当性向	49.8%	30%程度	30%程度
設備投資・事業投資	104億円	450億円 / 3年	

※ 2017年度の配当性向については、創立70周年記念配当(1株当たり10円)を含みます。

※ 2018年度から2020年度の設備投資・事業投資450億円の中には2018年度上期に実施した投資を含みます。

創業の精神である“Spirit of Challenge”という経営理念のもと、社会やお客さまなどステークホルダーからより一層信頼され、評価される「質の高い」企業づくりに取り組みます。具体的には、「世界のインフラ・環境づくりに貢献する企業」「利益水準を向上しステークホルダーに還元する企業」「コンプライアンス・品質を重視する企業」「働きがいのある安全で働きやすい職場」という当社グループのあるべき姿の実現を目指します。

3 具体的施策

I 国内鉄鋼事業の競争力の強化・生産性の向上

- ◆ 国内出荷量180万トン体制の確立とトン当たり利益の改善を目標とします。
- ◆ 生産面では、より効率的な生産体制の構築、操業技術力の向上等により製造コストの削減を進めます。
- ◆ 営業面では、営業部員一人ひとりの営業力、顧客サービス力の向上を図るとともに、購買・販売・出荷業務の改革を進めます。
- ◆ 工場設備の老朽化対応・強靱化対策に取り組みます。また、建築工法の多様化等に対応した新製品の開発に努めます。
- ◆ 引き続き、国内電炉業界が適正な競争環境のもとで健全に発展していくため、業界再編や業務提携に前向きに取り組めます。

II 海外鉄鋼事業の出荷量の増加・収益力の向上

- ◆ 海外出荷量220万トン体制の構築とトン当たり利益の改善により海外鉄鋼事業の利益を全体の3割程度まで引き上げることを目標とします。
- ◆ ベトナム・米国の拠点において、設備投資による増産・増販とコスト削減、生産効率の改善に取り組みます。
- ◆ ベトナムでは、北部2社の一体運営、および南部の鉄鋼事業と港湾事業との連携強化を図ります。
- ◆ 引き続き、米国事業の拡大や新たな地域での事業展開を検討します。

III 環境リサイクル事業および鉄鋼周辺事業の収益機会の拡大

- ◆ 環境リサイクル事業および鉄鋼周辺事業の利益を、安定的に全体の1割程度とすることを目標とします。
- ◆ 環境リサイクル事業については、電気炉での無害化熔融処理による質の高い廃棄物処理に努めるとともに、管理体制の強化を図り、顧客からの信頼とブランド力を高めます。
- ◆ 廃棄物処理設備の投資や他社との連携・提携、加えて、海外での事業展開を検討します。
- ◆ 鉄鋼周辺事業については、子会社群の収益力の強化を図るとともに、新製品の開発や事業の多角化、新規事業への展開を検討します。

IV 経営基盤の強化

- ◆ ステークホルダーから長期的に信頼、評価されるようガバナンス体制を強化し、コンプライアンスの重視と品質管理体制の向上に取り組めます。
- ◆ 当社グループの成長を担う自立型人材の育成や多様な人材の採用・登用、働きがいのある安全で働きやすい職場環境の実現に取り組めます。
- ◆ 国内事業所や国内外の子会社間の連携を強化し、グループ総合力を最大限に発揮できる体制を構築します。
- ◆ 操業の機械化・自動化による安全の確保と作業の省人化・無人化やAI・IoTを活用した次世代操業に向けた取り組みを始めます。
- ◆ 省エネやCO₂削減への取り組みを強化するとともに、社会貢献活動の拡充を図ります。
- ◆ 資本コストを意識しつつ、健全な財務内容の維持・構築のために、最適な投資戦略や財務戦略を立案・実行します。

個人投資家向けIRセミナーを開催しました。

9月20日、大阪市内において、日本証券アナリスト協会の主催により、個人投資家向けIRセミナーを行いました。廣富社長が登壇し、一般になじみの薄い電炉業について説明した後、国内・海外の鉄鋼事業を軸として成長を目指す当社グループの取り組みなどを紹介しました。

当日は雨模様にもかかわらず約120名の参加があり、熱心にメモを取る参加者の姿も見られました。質疑応答では鋭い質問も飛び出し、個人投資家の方々の株式市場への関心の高さを実感するセミナーとなりました。

当社グループでは、個人投資家の皆さまへの発信を充実させる取り組みを続けてまいります。



▲個人投資家向けIRセミナー当日の様相

創立70周年記念事業として地域社会貢献基金を設立しました。

共英製鋼 創立70周年記念事業の一環として、「地域社会貢献基金」を設立しました。総額2,000万円の寄付枠を設定し、今後10年間にわたって、各事業所・関係会社の近隣地域へ寄付を通じた社会貢献活動を継続的に実施します。初年度は、枚方事業所、山口事業所、名古屋事業所、関東スチール株式会社から、それぞれ50万円の寄付を行いました。



▲イベントで使用するテントの贈呈など、各地域の自治体のご要望に沿った寄付を行いました。




特集



もっと知りたい、共英製鋼 Vol.04 その他品種 (鉄筋以外の製品) 編


? 共英製鋼では鉄筋以外にどのような製品を生産していますか?
! 平鋼、構造用棒鋼、等辺山形鋼、Iバーを生産しています。

鋼材には、鉄筋以外にも、使用目的にあわせて一定の断面形状に成形された様々な品種があります。共英製鋼では、文字通り断面が平たい「平鋼」、断面の丸い「構造用棒鋼」、断面がI字型で二辺の幅が等しい「等辺山形鋼」、断面がI字型をした「Iバー」を生産しています。

平鋼	構造用棒鋼	等辺山形鋼
 <p>用途 船舶の補助部材、介護ベッドや椅子の補助部材、橋の欄干、建築土木補助部材など用途は多岐に及び。海外主要国の船舶用鋼材の規格を取得。</p> <p>特徴 幅25mm~150mm、厚さ4.5mm~16.0mmの需要が多いサイズを生産。</p>	 <p>用途 ボルト、ナット、シャックル、ハンマーヘッド、各種工具、建物の耐震補強材(ブレース)、落石防止ネットの固定ピンなど。</p> <p>特徴 製品切断面が綺麗で、加工性に優れている。</p>	 <p>用途 機械の架台、建物の外壁受け枠、配電盤の枠、鉄道・船舶の補助部材など。</p> <p>特徴 形状に優れ、歪みがなく直進性に富む。</p>

? どのようなところで使用されていますか?
! 共英製鋼の製品は、社会生活を支える重要な資材として活用されています。

共英製鋼では山口事業所で鉄筋以外の製品を生産しています。北海道から沖縄まで全国各地にお届けするほか、一部は海外にも輸出しています。用途は、鉄道や船舶といったインフラからボルトや椅子といった身の回りのものまでさまざま。鉄筋棒鋼などはコンクリートに埋められるため外から見ることはできませんが、たとえば「Iバー」は道路側溝のグレーチング(鋼製溝ぶた)に使われ、ごく身近な場所で製品を目にすることができます。国産鋼製グレーチングの6割以上に共英製鋼の「Iバー」が使用されています。

Iバー
 <p>用途 グレーチング(鋼製溝ぶた)の主部材: 一般的な溝ぶた、道路側溝のふた、精密機械工場のクリーンルームや厨房などの床、大型プラントの階段、大型船舶のエンジンルームや階段など。</p> <p>特徴 商品ラインナップは日本一(3タイプ×10サイズ)。車道用、歩道用のすべり止めタイプと一般タイプの3種類のラインナップがある。</p>



▲平鋼 船舶 ▲構造用棒鋼 建築資材、工具 ▲等辺山形鋼 鉄道 ▲Iバー 道路側溝で使用されるグレーチング(右はすべり止めタイプ)

連結貸借対照表(要旨)

科目	前期末	当第2四半期末
	2018年3月31日現在	2018年9月30日現在
資産の部		
流動資産	138,261	153,765
固定資産	95,958	103,123
有形固定資産	77,428	83,892
無形固定資産	2,480	6,926
投資その他の資産	16,051	12,305
資産合計	234,220	256,889

連結損益計算書(要旨)

科目	前第2四半期	当第2四半期
	2017年4月1日～2017年9月30日	2018年4月1日～2018年9月30日
売上高	86,506	110,718
売上原価	78,780	99,667
売上総利益	7,726	11,051
販売費及び一般管理費	6,071	6,728
営業利益	1,654	4,323
営業外収益	441	462
営業外費用	684	808
経常利益	1,411	3,977
特別利益	13	610
特別損失	350	218
税金等調整前四半期純利益	1,075	4,369
法人税等	382	1,204
四半期純利益	692	3,165
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△314	128
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,006	3,037

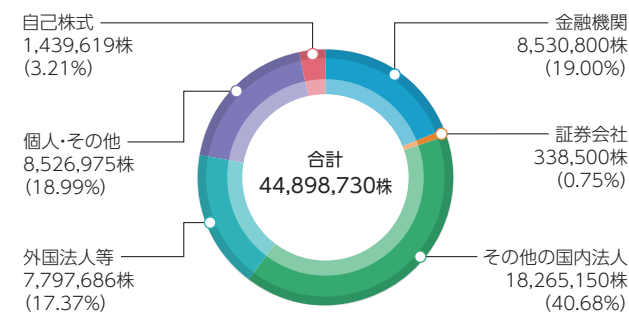
株式の状況 (2018年9月30日現在)

発行可能株式総数 150,300,000株
 発行済株式総数 44,898,730株
 株主数 3,006名
 大株主

株主名	持株数	持株比率 ^{*1} _{*2}
新日鐵住金株式会社	11,592,932株	26.68%
高島 秀一郎	4,347,460	10.00
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (三井住友信託銀行再信託分・ エア・ウォーター株式会社退職給付信託口)	2,600,400	5.98
高島 成光	2,233,000	5.14
三井物産株式会社	1,470,000	3.38
合同製鐵株式会社	1,347,000	3.10
SSBTC CLIENT OMNIBUS ACCOUNT	1,322,813	3.04
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口9)	872,300	2.01
NORTHERN TRUST CO.(AVFC) RE NVI01	796,100	1.83
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	756,800	1.74

*1 持株比率は、小数第3位以下を四捨五入して表示しています。
 *2 持株比率は、自己株式(1,439,619株)を控除して計算しております。

所有者別株式分布状況 (2018年9月30日現在)



会社概要 (2018年9月30日現在)

商号 共英製鋼株式会社
 (KYOEI STEEL LTD.)
 設立 1947(昭和22)年8月21日
 資本金 185億16百万円
 従業員数 3,273名(連結:正社員)
 主な事業 (1) 鋼片、各種鋼材、鉄鋼製品の製造・加工・販売
 (2) 一般・産業廃棄物、医療廃棄物の収集・運搬・処分業および自動車リサイクル事業ならびに廃棄物再生資源化事業
 (3) 鉄筋・ネジ鉄筋加工と組立工事
 (4) 鉄鋼製造プラントの設計および鉄鋼製造技術の販売
 関係会社 関東スチール(株)
 共英産業(株)
 (株)共英メソナ
 共英リサイクル(株)
 共英加工販売(株)
 ビナ・キョウエイ・スチール社
 キョウエイ・スチール・ベトナム社
 チー・パイ・インターナショナル・ポート社
 ベトナム・イタリー・スチール社
 ビントン・スチール社
 中山鋼業(株) 他

役員 (2018年11月1日現在)

代表取締役会長	高島 秀一郎	上席執行役員	鳴海 修
代表取締役社長	廣富 靖以	上席執行役員	榎本 堅
取締役・専務執行役員	合六 直吉	上席執行役員	白石 愛明
取締役・専務執行役員	大田 和義	上席執行役員	国丸 洋
取締役・常務執行役員	座古 俊昌	執行役員	北田 正宏
取締役・常務執行役員	平岩 治雄	執行役員	川井 健司
取締役・常務執行役員	坂本 尚吾	執行役員	川上 浩生
取締役相談役	森 光廣	執行役員	横山 政美
取締役(社外)	新井 信彦	執行役員	篠田 昭雄
取締役(社外)	山尾 哲也	執行役員	小野 晃
常勤監査役	市原 修二	顧問・フロンティア名譽会長	高島 成光
監査役(社外)	津加 宏		

* 監査役(社外)の小西幹男氏は2018年11月1日に逝去され、退任いたしました。

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日までの1年
定時株主総会 基準日	毎年6月
定時株主総会 期末配当	3月31日（その他必要がある場合は、あらかじめ公告いたします。）
中間配当を行う場合	3月31日
株主名簿管理人	9月30日
	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
同事務取扱場所	大阪市中央区北浜四丁目5番33号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
郵便物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
電話照会先	☎0120-782-031
公告の方法	電子公告とします。 ただし、事故その他やむを得ない事由により電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。
上場証券取引市場	東京証券取引所市場第一部
証券コード	5440

株式に関する住所変更等のお届出およびご照会について

証券会社に口座を開設されている株主様は、住所変更等のお届出およびご照会については、口座のある証券会社宛にお願いいたします。

株主優待制度について

当社は、長期にわたり当社株式を保有いただいている株主の皆様のご支援に感謝するとともに、今後もより多くの方々の中長期的に当社株式を保有していただくことを目的として、株主優待制度を設けております。

保有株式数および継続保有期間に応じ、以下の優待品をお贈りいたします。

優待品／QUOカード

保有株式数	継続保有期間	
	1年未満	1年以上
100株以上1,000株未満	1,000円分	2,000円分
1,000株以上	2,000円分	3,000円分



※2018年3月31日現在の当社株主名簿に記載または記録されている株主様より適用を開始し、6月下旬に発送いたします。なお、「継続保有期間1年」の認定につきましては、毎年3月31日を基準日として、前年の3月31日および9月30日現在の当社株主名簿に、同一株主番号で連続して3回以上記載または記録されていることを条件といたします。

 **共英製鋼株式会社**

〒530-0004 大阪市北区堂島浜1-4-16 アクア堂島西館18階
TEL 06(6346)5221(代表)
URL <http://www.kyoeisteel.co.jp/>

**UD
FONT**